

【共通】

◆生育状況について

生育は、昨年より7日程度進んでいる。

◆当面する重点作業について

1. 新梢・徒長枝が伸びているので、適正に整理する。
2. 樹体が日焼けで傷まないように保護する（新梢を置く・ワラを巻くなど）
3. 適時にかん水を実施する。降雨が多い場合は、排水対策を実施する。
4. アメリカシロヒトリは巣網のうちに捕殺するか、焼却処理する。
5. 薬剤散布を適期に実施する。

【プルーン・すもも】

◆スモモヒメシンクイの防除対策について《重要》

1. 薬剤防除：定期防除は、散布間隔を守りしっかりと散布ムラなく、量をしっかりと掛ける。
2. 耕種的防除：園内をこまめに巡回し、樹上の被害果・落果した被害果をすべて見つけ処分する。
3. 処分方法
 - 1) 被害果を園外に持ち出し、7日以上水漬けし果実中の幼虫を殺す。
 - 2) 土中に埋める場合は、1m以上深く埋める。浅いと羽化し、再び発生するので注意する。
 - 3) 厚い肥料袋等に被害果を入れ、羽化成虫が外に飛び出さないよう口を固く結ぶ。レジ袋等は不可。
 - 4) 放任園や自家用で、防除しないプルーン・すもも等発生源を伐採してもらう。
4. 被害果の特徴
 - 1) アメをだす。
 - 2) 果面に地図を描く。
 - 3) 果面が黄色や紫色に変色。
 - 4) 落果している。

◆灰星病対策について

被害果を見かけ次第（降雨の前に）除去し、園外へ持ち出すが土中に埋め、被害果を触った手で他の果実に触れないようにする。

◆第12回薬剤散布について

1. 散布時期：7月21日（火）～25日（土）

実際散布月	日	月	日
-------	---	---	---
2. 使用薬剤（混用順記載）※調合量1000ℓ当り・10a当り散布量：4000ℓ以上

農薬名	使用倍率	調合量	収穫前	病害虫
（展着剤まくぴか）	10,000倍	10mℓ	—	—
㊟テルスターフロアブル	3,000倍	33mℓ	前日	シンクイムシ類
ベルクトフロアブル	2,000倍	50g	3日	灰星病

3. 散布上の留意事項
 - 1) 収穫中の品種には、薬液が飛散しないよう注意し散布する。
 - 2) 散布の際、ブルームの流れ、雫による薬斑軽減のため細かい霧で実施する。
 - 3) 収穫直前の品種は、定期薬剤散布に代えて別記の収穫前薬剤散布を行う。
 - 4) 展着剤を「まくぴか」10,000倍（水100ℓ当り10mℓ）にすると、均一に付着しやすくなり、乾きが早まるため、液だまりが減少する。
 - 5) テルスターフロアブルに代えて、㊟スカウトフロアブル2,000倍（水100ℓ当り50mℓ）又はアディオンフロアブル1,500倍（水100ℓ当り66mℓ）を使用してもよい。
 - 6) ハダニ類の発生が心配される場合は、ダニオーテフロアブル2,000倍（水100ℓ当り50mℓ）を加用散布する。

◆収穫前薬剤散布について

1. 散布時期：収穫開始2日前

実際散布月日	月	日
--------	---	---
2. 使用薬剤（混用順記載）※調合量1000ℓ当り・10a当り散布量：4000ℓ以上

農薬名	使用倍率	調合量	収穫前	病害虫
オンリーワンフロアブル	2,000倍	50ml	前日	灰星病

3. 散布上の留意事項
- 1) 「収穫前日」とは、収穫24時間前までに散布が終了している事を意味する。
- 2) オンリーワンフロアブルに代えて、オーシャインフロアブル3,000倍（水1000ℓ当り33ml・収穫前日）又はアンビルフロアブル1,000倍（水1000ℓ当り100ml・収穫前日）を使用してもよい。

【おうとう】

◆双子果について

発生要因は、前年の夏季（花芽分化期）が高温で経過したときに多発し、佐藤錦は特に発生が多い品種。昨年は、記録的な高温が続いたため、本年の発生につながっている。

- 現状の気候では、今後も発生が多いと考えられ、できる対策を実施する。
1. 雨除け施設の被覆資材を、収穫後早期に剥ぎ、園内の温度上昇を防ぐ。
2. かん水をし、園内の温度を下げる。また、敷ワラ等し、土壌乾燥を防ぐ。

◆第7回薬剤散布について

1. 散布時期：7月中下旬

実際散布月日	月	日
--------	---	---
2. 使用薬剤（混用順記載）※調合量1000ℓ当り・10a当り散布量：5000ℓ以上

農薬名	使用倍率	調合量	収穫前	病害虫
展着剤	10,000倍	10ml	—	
トレノックスフロアブル	500倍	200ml	21日	褐色せん孔病

3. 散布上の留意事項
- 1) ハダニ発生が目立つ場合は、コロマイト乳剤1,000倍（水1000ℓ当り100ml）を加用散布する。

【なし】

◆第11回薬剤散布について

1. 散布時期：7月27日（月）～7月31日（金）

実際散布月日	月	日
--------	---	---
2. 使用薬剤（混用順記載）※調合量1000ℓ当り・10a当り散布量：棚4500ℓ以上・立木5000ℓ以上

農薬名	使用倍率	調合量	収穫前	病害虫
コロマイト乳剤	1,000倍	100ml	前日	ハダニ類
ベルコートフロアブル	1,500倍	66ml	14日	黒斑病
㊞イカズチWDG	1,500倍	66g	前日	シンクイムシ類・ハマキムシ類・カメムシ類

3. 散布上の留意事項
- 1) コロマイト乳剤は、西洋なしル・レクチェに薬害を発生する可能性があるため、袋掛け後の使用とする。また、ベルコートフロアブルは西洋なしル・レクチェに薬害が発生するため、オキシラン水和剤500倍（水1000ℓ当り200gℓ）を使用する。
- 2) イカズチWDGに代えて、アーデントフロアブル2,000倍（水1000ℓ当り50ml）又はアディオンフロアブル1,500倍（水1000ℓ当り66ml）又は㊞ロディー水和剤1,000倍（水1000ℓ当り100g）を使用してもよい。